

事務事業名	栄養士・調理員管理事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12031					
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	教育総務課	課長名	塚原 浩二					
			所属担当	保健給食担当	担当者名	柴田 肇					
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
政策	23	学校教育の充実	事業区分	01	一般	10	01	02	020	34	
施策	36	「生きる力」を育む学校教育の推進		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金							
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H15 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			法令根拠	学校給食法						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)							
	栄養士、調理員の届出及び各種報告に関する事務 ①学校給食臨時職員の任用事務 ②衛生研修会及び給食職員、調理員研修に関する事務 ③栄養職員及び調理員の優良職員表彰推進事業 ④調理員代替職員の申請及び賃金支払い事務 ⑤献立予定表取り纏め事務⑥源泉徴収票発行事務			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
				臨時職員賃金	77,848						計

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容	前年度と同じ。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	27年度活動予定	26年度作成したアレルギーマニュアルに基づき、対応給食を提供する。			ア年間雇用代替職員数	人
					イ優良職員推薦数	人
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	学校栄養職員、学校調理員		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア市内栄養士数	人
					イ市内調理員数	人
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	栄養士及び調理員に係る事務を円滑かつ適正に実施することにより、美味しい給食を提供できる。		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア給食が美味しいと答えた児童生徒の割合	%
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	学校給食事務の円滑な遂行により、児童生徒が安心安全な給食を食べられる。		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア学校給食に係る満足度	%

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	74,436	76,719	80,314	91,640	91,640			
		事業費計(A)	千円	74,436	76,719	80,314	91,640	91,640	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3			
		延べ業務時間	時間	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500			
		人件費計(B)	千円	6,827	6,827	6,827	6,827	6,827	0	0	
		(A)+(B)	千円	81,263	83,546	87,141	98,467	98,467	0	0	
	活動指標	ア	人	463.0	463.0	463.0	463.0	463.0			
		イ	人	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0			
	対象指標	ア	人	3.0	3.0	4.0	4.0	4.0			
		イ	人	33.0	33.0	33.0	33.0	33.0			
	成果指標	ア	%								
		イ	%								
	上位成果指標	ア	%								
		イ	%								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	学校給食管理が円滑に行うため合併前より開始
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	変化なし
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	意見・要望なし

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	栄養士や調理員の働きやすい環境を整備するため、代替調理員を常に確保し、安心して業務を行えるよう取り組みをしている。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	安全安心な給食を実施するための対応はしているが、改革改善は行っていない。

事務事業名	栄養士・調理員管理事業	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 学校給食事務の円滑な遂行により、安心安全な給食を提供でき、意図目的に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 公会計の市運営学校給食事業のため妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 日常的に調理員等の臨時職員が不足している。さらに調理員の不測の事態により、代替調理員の確保が困難となっている。経費と事務量を考えると、委託等の新たな手段を検討する時期にきている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 このまま直営で運営すると改革改善が図られないまま、単に人件費の高騰の事態を迎える。「学校給食を適切に配食する」目的ならより効率的な方法も検討すべきであり、その過程でさらなる成果の向上を目指す。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 栄養士、調理員の人件費が無くなる事態になり、学校給食の配食が不可能になる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 学校給食事業が円滑に遂行できず、児童生徒が安心安全な給食を食べることができない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現状の直営方式以外にも各自治体で運営している様々な形態を検討していく中では、必ず経費削減の検討が出来る。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現状は、適切な人員配置をしている。事業費の削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 全栄養士、調理員が対象であり、公平公正である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	学校給食調理に関してはこの事業費で臨時職員(栄養士・調理員)の賃金を手当てして運営している。しかし、その劣悪な労働条件や低賃金等の理由により、なかなか臨時職員が定着しない現状がある。毎日の学校給食配食は必須であり、臨時職員がいない等の理由で配食が行なわれない事態を避けるべきである。そのため現状の直営による学校給食調理を委託などの新たな運営方法を検討する必要がある。
② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 安全安心な給食の効率的な提供の手段を検討する。 検討材料として静岡県袋井市の給食センターを見学した際の感想を記す。 此处は、調理・運送・学校での受入業務を委託している。職員はほとんどパート従業員。しかし、衛生管理は徹底して教育されており、動作もキビキビしている。その証拠が、きれいな床。床は乾燥しており清潔。調理中、食材が落ちたら即拾いふき取り、その後自分の手洗い、作業復帰。パートでも民間は、『ここまでするんだ』と驚いた。	(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 現状の直営が最善の方法と限定せず、様々な手段を検討して結論を出す。学校給食に携わる多くの方の意見を集約して改革を行う。																					
	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 ⑫																					
	コスト削減優先度評価結果 ①																					